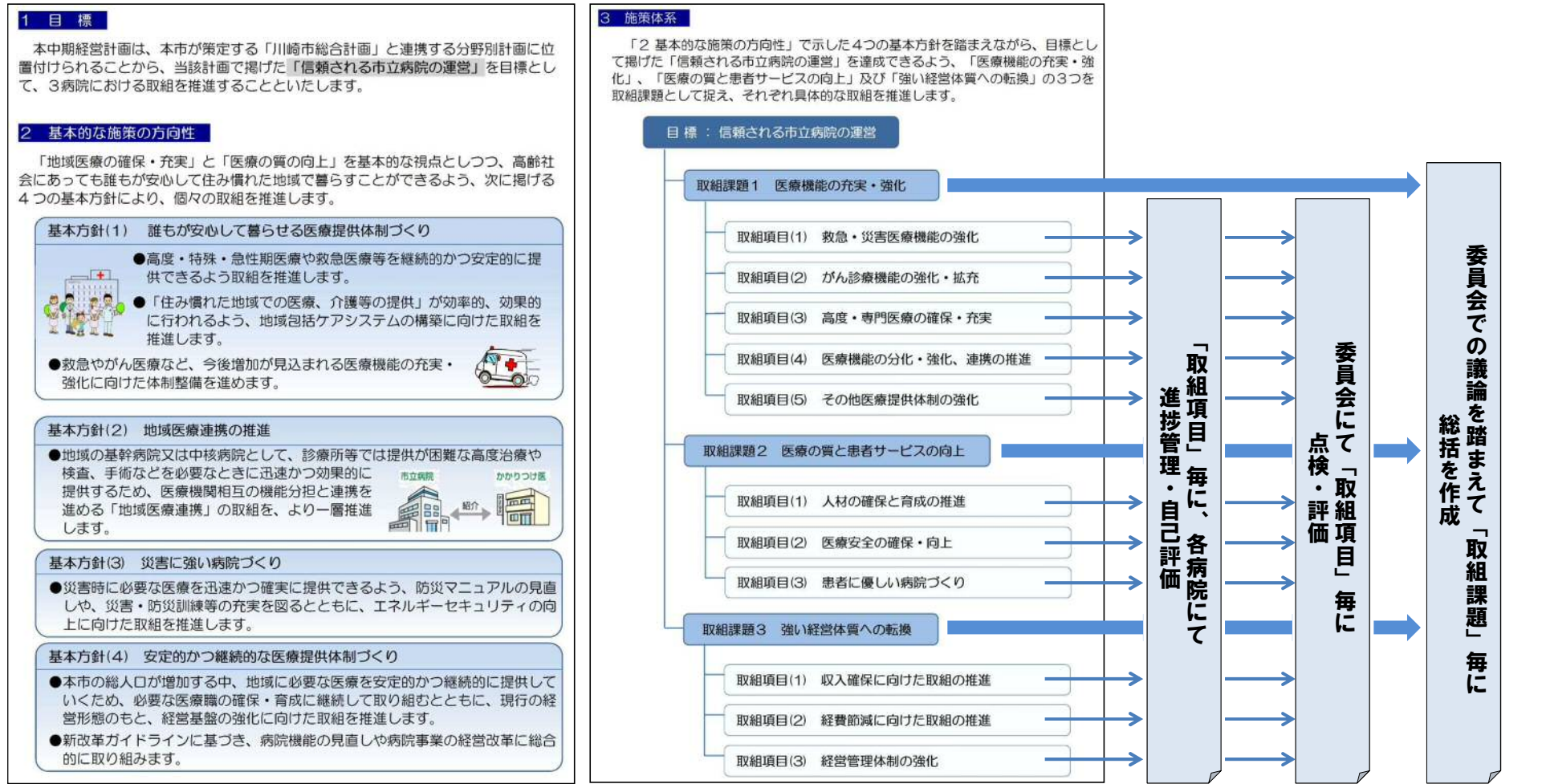


### 1 進捗管理・点検評価の考え方について



## 2 目標の達成指標について

(例)

### 4 具体的な取組

(1) 川崎病院における取組

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

#### ① 救命救急医療の充実

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れるよう体制の整備を進めます。

<主な取組>

- ・救命救急センター医師の安定的な確保
- ・救急医をサポートする救急救命士の確保・増員
- ・夜間・休日における緊急MRI撮影（磁気共鳴コンピューター断層撮影）実施体制の整備

【成果指標】

	平成26年度（実績値）	平成32年度（目標値）
三次救急搬送患者応需率	97.4%	98.2%以上
救急自動車搬送受入台数	7,332件	7,332件

#### ② 災害医療機能の維持

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害発生時の孤立化（物資供給や電力の途絶など）に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。

<主な取組>

- ・災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保
- ・備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換
- ・災害時における情報伝達手段の確保（「かわさきWi-Fi」整備）
- ・電気設備の浸水対策及び埋設給水管の耐震化

【成果指標】

	平成26年度（実績値）	平成32年度（目標値）
災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	90%	90%以上
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	3日間分	3日間分

<総括>として記載

### ●「取組項目」に対する進捗状況指標の基準

進捗状況	説明	評価の目安
I	順調に進捗	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を上回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「順調に進捗している」と思われるもの
II	一定の進捗がある	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」程度の評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「一定の進捗がある」と思われるもの
III	進捗が遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を下回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が遅れている」と思われるもの
IV	進捗が大幅に遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「D」を下回るの評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が大幅に遅れている」と思われるもの

### ●取組に対する達成度の評価基準

達成度	説明	評価の目安
A	目標を大きく上回って達成	成果指標の評価が平均して「2」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく上回って達成」と思われるもの
B	目標を上回って達成	成果指標の評価が平均して「3」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を上回って達成」と思われるもの
C	ほぼ目標どおり	成果指標の評価が平均して「3」程度で構成されており、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「ほぼ目標どおり」と思われるもの
D	目標を下回った	成果指標の評価が平均して「3」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を下回った」と思われるもの
E	目標を大きく下回った	成果指標の評価が平均して「4」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく下回った」と思われるもの

### ●成果指標の評価基準

評価	説明	評価の目安	
1	目標値を大幅に上回った	実績値が大きいほどよい指標の場合 +10%	目標値に対して実績値が110%を超えている 目標値に対して実績値が90%未満
2	目標値を上回った	+5%	目標値に対して実績値が105%を超え110%以内 目標値に対して実績値が90%以上95%未満
3	目標値を概ね達成した	100%	目標値に対して実績値が95%以上105%以内 目標値に対して実績値が95%以上105%以内
4	目標値を下回った	-5%	目標値に対して実績値が90%以上95%未満 目標値に対して実績値が105%を超え110%以内
5	目標値を大幅に下回った	-10%	目標値に対して実績値が90%未満 目標値に対して実績値が110%を超えている



### 3 「取組進捗状況管理シート」について

川崎病院 取組進捗状況管理シート No.1

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救命救急医療の充実

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け渡します。

<今年度の主な取組内容>

- ・取組項目実現のために行う、具体的内容を、年度当初に記載しています。

<取組内容>

平成28年度の主な取組内容

①救急やがん等の医療機能強化に向け、「医療機能再編基本構想」の策定  
②救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救命救急士の安定的な確保  
③川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力

<成果指標>

※平成28～31年度の目標値は目安として設定

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
三次救急搬送患者応需率	97.4%	99.0%	97.6%	97.7%	97.9%	98.1%
実績値						
評価			3			
救急自動車搬送受入件数	7,332件	7,075件	6,827件	7,332件	7,332件	7,332件
実績値						
評価			4			

<自己評価>

評価の理由と今後の課題

平成28年度の進捗

・「救急自動車搬送受入件数」については、目標値を達成しなかったものの、「三次救急搬送患者応需率」は、目標値を上回り、救命救急センターとして「断らない救急」を目指すという目的は、達成できたものと考えております。  
・今後の課題としては、二次救急患者の応需件数が横ばいのため、更なる対策が必要と考えます。

C. ほぼ目標どおり

<今年度の主な取組内容>

- ・取組項目実現のために行う、具体的内容を、年度当初に記載しています。

<成果指標>

- ・計画に掲げている成果指標について各年度単位の目標値・実績値を記載し、評価しています。

<今年度の達成度に対する自己評価>

- ・「成果指標」と指標以外の成果とを勘案し、自己評価しています。

C. ほぼ目標どおり

<具体的な取組>

- ・計画に掲げた「主な取組」及びその他の具体的な取組事項について、目標値・実績について記載しています。

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016～2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<平成31年度>	<平成32年度>
●救命救急センター（救急科）医師の安定的な確保	目標値 17名	16名	18名	18名	18名	18名	18名
●救命医をサポートする救命救急士（非常勤）の確保	目標値 2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
●夜間・休日における緊急MR1撮影実施体制の整備	目標値 8/127,127から実施	8/127,127から実施	8/127,127から実施	8/127,127から実施	8/127,127から実施	8/127,127から実施	8/127,127から実施
救命救急センター医師事務補助者の確保	目標値 1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
救命救急センター医師事務補助者の確保	目標値 1名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
救命救急センター医師事務補助者の確保	目標値 4日	4日	4日	4日	4日	4日	4日
救命救急センター医師事務補助者の確保	目標値 4日	4日	4日	4日	4日	4日	4日
川崎市救急会議への参加	目標値 延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名
川崎市救急会議への参加	目標値 延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名
川崎市メディカルコントロール協議会への参加	目標値 参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
川崎市メディカルコントロール協議会への参加	目標値 参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
川崎航空中セットワークへの参加	目標値 参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
二次救急の応需件数	目標値 4,702件	4,533件	4,235件	4,500件	4,500件	4,500件	4,500件
実績値							

川崎病院 取組課題の取りまとめシート

取組課題1 医療機能の充実・強化

<取組項目毎の進捗状況評価>

- ・「取組項目」単位の進捗状況に対する自己評価を委員会にて評価いただきます。

取組項目	平成28年度の主な取組内容	評価の理由と今後の課題	進捗状況
取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化			
① 救命救急医療の充実	①救急やがん等の医療機能強化に向け、「医療機能再編基本構想」の策定 ②救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救命救急士の安定的な確保 ③川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力	・「救急自動車搬送受入件数」については、目標値を達成しなかったものの、「三次救急搬送患者応需率」は、目標値を上回り、救命救急センターとして「断らない救急」を目指すという目的は、達成できたものと考えております。 ・今後の課題としては、二次救急患者の応需件数が横ばいのため、更なる対策が必要と考えます。	C. ほぼ目標どおり
② 災害医療機能の維持	①派遣要請対応 ②各種訓練実施・参加 ③DMAT隊員の養成 ④備蓄用飲料水の増加	・「災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率」は、2件の派遣要請（熊本地震、浮島ジャンクション事故）に対応しました。 ・各種訓練（政府訓練、関東ブロック訓練、市総合防災訓練など）に参加し、隊員の技能向上に努めました。 ・新たな隊員養成（日本DMAT1名、川崎DMAT4名）を行いました。 ・備蓄用飲料水は一人当たりの量を1日1人0.5Lから1.0Lへ増加しました。 ・今後も、引き続き隊員の維持・育成、備蓄用飲料水の確保に努めます。	B. 目標を上回って達成 II. 一定の進捗がある

<外部評価>

委員会委員による意見等

委員会委員による意見等

- ・本日の委員会における委員からの意見を取りまとめ、総括として記載します。

<取組項目毎の進捗状況評価>

- ・「取組項目」単位の進捗状況に対する自己評価を委員会にて評価いただきます。

C. ほぼ目標どおり

B. 目標を上回って達成

II. 一定の進捗がある

<委員会委員による意見等>

- ・本日の委員会における委員からの意見を取りまとめ、総括として記載します。



# 川崎 4 本日の点検・評価に当たっては

## 各取組項目達成指標等取りまとめシート（点検評価書からの抜粋）

### 取組課題 1 医療機能の充実・強化

#### 取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

取組項目	点検評価書での頁	平成29年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の課題	29年度の達成度	進捗状況
<b>川崎病院</b>								
① 地域医療連携の推進	68~69	①地域医療連携の会の開催（第1回） ②開業医訪問の実施 ③「かかりつけ医」紹介の積極的な推進 ④連携医療機関が記載された一覧の地域医療連携窓口での配布	地域医療支援病院の承認	H29目標値 継続 H29実績値 継続 (H32目標値) 28年度に承認	3	・平成28年から地域医療支援病院の承認がされ、かかりつけ医相談マニュアル改訂やマニュアルの周知、かかりつけ医相談件数増などの影響から、紹介率・逆紹介率いずれも目標値を達成しています。 ・9月に川崎病院として初めて地域医療連携の会を開催し、連携登録医など地域の医療機関関係者100名以上の参加が実現したことから地域との連携推進に取り組みしています。 ・検査機器の共同利用やPET-CT導入は、地域医療連携の会の開催等で地域医療機関へ周知することができました。また、開業医訪問時に検査機器の共同利用の説明を行い利用の促進を引き続き行ってまいります。	C ほぼ目標とあり	I. 順調に進捗
			紹介率	H29目標値 50.0% H29実績値 65.9% (H32目標値) 50%以上	1			
			逆紹介率	H29目標値 70.0% H29実績値 82.5% (H32目標値) 70%以上	1			
			検査機器の共同利用件数	H29目標値 440件 H29実績値 411件 (H32目標値) 500件以上	4			
② 地域包括ケアシステムの推進	70~71	①在宅患者への適切なケアや支援等について、地域の在宅ケア関係者と意見交換を行う「地域ケア懇談会」を年2回実施 ②地域の医療従事者を対象とした症例検討会や勉強会の開催	地域ケア懇談会開催数	H29目標値 2回 H29実績値 2回 (H32目標値) 2回	3	・地域ケア懇談会は計画通り2回の開催し、ケアマネジャー、訪問看護ステーション職員、区の病院、クリニック関係者及び区役所職員等、206名の参加者を得ることができました。 ・地域の医療従事者を対象とした研修会は、医師向け研修会を9回、看護師等向け研修会を14回開催しました。医師向け研修会では、症例検討及び講演会等を行い、看護師等向け研修会では、認定看護師による各専門分野についての講演等を行いました。多職種での参加もあり、昨年度に比べて参加者も大幅に増加いたしました。 引き続き、地域の医療従事者との顔の見える連携のために研修会等を継続して行ってまいります。	B 目標を上回って達成	
			勉強会・症例検討会等への地域の医療・介護従事者等参加証数	H29目標値 220人 H29実績値 870人 (H32目標値) 250人以上	1			
<b>井田病院</b>								
① 地域医療連携の推進	84~85	①地域の医療機関と連携し、適切に切れ目のない医療の提供を目指して連携登録医制度の導入 ②地域の医療機関向けに外来診療表等を毎月送付及び、診療科の紹介冊子の新規作成 ③紹介状作成等について院内広報紙での周知や医師へのオリエンテーションの実施 ④地域の医療機関等を対象とした研修会の開催（地域連携相互交流学習会・症例検討会等）	紹介率	H29目標値 承認 H29実績値 申請見送り (H32目標値) 平成29年度承認	5	・地域医療支援病院の承認は、医師確保の問題によりが困難であるため、平成29年度中の申請は見送ることとなりました。		
			逆紹介率	H29目標値 50.0% H29実績値 (H32目標値)				
			検査機器の共同利用件数	H29目標値 H29実績値 (H32目標値)				
② 医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供	86~87	①がん末期、医療依存度の高い患者に対して、退院の時期を逸さないために、当院からの訪問診療導入のコンサルテーション機能の充実 ②症状悪化時の緊急住診の受け入れだけでなく、家族に対するメンタルケアの充実	医療依存度が高い患者に対する住診患者数	H29目標値 H29実績値 (H32目標値)		・病棟看護師による同行訪問、退院後訪問を行い、病棟と在宅ケアとの連携を更に深めました。	回った	
			24時間連携登録医からの受入患者数	H29目標値 H29実績値 162人 (H32目標値) 200人以上	4			
③ 地域包括ケア病床の整備と運営	88~89	①地域包括ケア病床の充実	地域包括ケア病床の整備	H29目標値 継続 H29実績値 継続 (H32目標値) 継続	3	・毎週、多職種による地域包括ケア病棟転床調整会議を開催し、病床運用の調整を行うことにより、院内急性期病棟から地域包括ケア病棟への転床数が増加し、病床利用率は増加しています。在院日数も短縮傾向にあり、病棟の効率的運営が図られ、在宅復帰率の上昇にもつながっています。 ・薬剤料が出来高算定できる抗がん剤治療の患者や短期手術の入院患者が増加したことから、稼働額の増加につながっています。 ・引き続き病床の効率的運営に努める他、地域医療機関との連携を深め、地域との架け橋として、機能を強化してまいります。	A 目標を大きく上回って達成	
			地域包括ケア病床の病床利用率	H29目標値 70.0%以上 H29実績値 77.3% (H32目標値) 85.0%以上	1			

上方修正した指標は、網掛けをしています。

本日の点検・評価に当たっては、「成果指標」、取組毎の「今年度の評価」、取組項目の「進捗状況」を、市立病院間で比較してしやすいように、資料1-5「各取組項目達成指標等取りまとめシート」としてまとめています。基本的にこのシートを利用して、各病院から御説明しますので、点検・評価の御意見をお願いいたします。